

＜学界消息＞

◇関西支部の活動

(2005年2月～5月)

ワークショップの開催

第124回ワークショップ (2005/3/3～5 於：国営木曾三川公園 (愛知県・岐阜県・三重県))

フィールド調査「国営木曾三川公園における環境教育の取り組み」

第125回ワークショップ (2005/4/16 於：大阪府青少年会館)

「アライグマから自然保護を考える」(リナックス型で開発された環境共育プログラム)

共催：LINCS (リナックス型環境共育開発プロジェクト)

ニュースレター「関西ECOMAIL」の発行

第82号 (2/16) 第83号 (4/8)

◇福岡県支部の活動

(2005年3月～4月)

第13回福岡県環境教育学会例会

2005年4月24日(日)

=プログラム=

- ・山下國語氏 (元西日本新聞論説委員)「基調講演：食物・農業・環境は誰のものか」
- ・山下國語氏、能美俊夫氏 (やはた有機野菜研究会代表)「対談による問題提起：食料・農業・環境、三つを結ぶ脆い輪を修復する試み」
- ・木下悟氏 (西日本新聞社編集委員)、矢野正孝氏 (北九州工業高等専門学校助教授)「全員参加型討論会：食・農・環 ～いのちのつながりの中で～」
- ・パネル展示：7団体
エフコープ北九州ブロック環境委員会、九州共立大学環境サイエンス学科、九州国際大学附属高校女子部環境化学部、福岡教育大学家政教育

講座秋永研究室、福岡教育大学技術教育講座平尾研究室、福岡県立福岡魁誠高校、若松循環型農業システム研究会、北九州市立大学法学部三宅研究室

本例会は、本支部が主催する「食と農をめぐる環境教育」(題目：～みんなで語ろう、食・農・環いのちのつながりの中で～)の3回目にあたり、今回は西日本新聞社が連載する「食卓の向こう側」の地域シンポジウムと連携して共催で行われました。約120名が参加し、活発な討議・意見交換がなされました。

ニュースレター発行

Vol.18 (3/5)